



町内会を基本とした防災まちづくり —顔の見える安心感のある成逸のまち—



京都府京都市 京・まち・ねと 主宰
成逸まちづくり推進委員会アドバイザー 石本 幸良

1 成逸学区

成逸学区は京都市上京区の北端に位置し、明治2年に上京区第2番組小学校が開校、その通学区が今の成逸学区（元学区）です。西陣の一面にあり、低層木造住宅が比較的多い市街地です。人口は2695人、世帯数1383世帯、高齢化率28.6%（平成29年1月現在）です。成逸自主防災会は昭和58年3月設立で、成逸住民福祉協議会に所属します（成逸住民福祉協議会は26町内会、約20の各種団体で構成）。

2 自主防災活動活性化の契機

平成19年7月発生の新潟中越沖地震に接し、平成20年5月から自主防災会を中心に自分たちのまちの避難所運営マニュアル策定の取組を開始し、阪神・淡路大震災の時、避難所を運営された方のお話を聞き、平成21年3月に成逸学区避難所運営マニュアルを策定しました。



平行して平成19年4月に成逸まちづくり推進委員会を設置し、成逸学区のまちづくり目標を「成逸に町内会があって良かったと思えるまち」を目指すこととし、以降、町内会活動を更に進化させています。特に防災まちづくり活動は町内会を基本の取組を毎年企画・実施し、継続することで防災に対する意識向上と維持を目的とした活動

を展開しています。

3 活動実績

(1) 福祉防災マップの作成

平成16年度に作成し、数年ごとに改訂を行っています。当初は寝たきり、独居老人、障がいのある方、幼児を抱えた世帯など多様な内容でしたが、現在は高齢者等の情報を中心にまとめています。

(2) 成逸総合防災訓練

毎年10月に開催しています。毎回、避難所運営マニュアル等に沿った模擬訓練を取り入れ、実践と学習と、若い方の参加が増えるように、参加者が楽しめる訓練を実施しています。また、毎年参加者アンケート調査を行い、住民の防災意識の向上と継続性に努めています。



(3) 各町避難行動マニュアル策定

各町内会ごとの緊急時連絡網を作成し、防災訓練の際に連絡網で安否確認の訓練を行っています。また、各町内会の防災関連施設情報のプロットと災害時の避難に関する情報を網羅したマップを作成しています。この緊急連絡網と防災マップを合わせて各町



ごとの避難行動マニュアルとしてまとめ、全世帯に保管してもらえるようにラミネート加工をして配布しました。(平成24年度)

(4) 災害時要配慮者支援台帳「成逸ほっと安心カード」(平成26年度)

東日本大震災の教訓をもとに、73歳以上の高齢者を対象に実施した「災害時における避難支援に対する意識調査」をもとに、災害発生時に避難支援を希望する高齢者の台帳とマップを町内会ごとに作成しました。約250名の方が登録され、台帳とマップは学区と町内会長が保管しています。3年ごとに見直しすることとしています。

(5) 各町内会の地蔵盆の記録集作成

成逸学区のすべての町内会(お町内)で、8月のお盆前後に開催される地蔵盆は、お町内の絆の原点で、お町内の年中最大の行事として伝承されています。平成25年度にすべての町内の地蔵盆の調査を行い、「成逸の夏の風物詩『地蔵盆』の記録」をまとめ、地蔵盆継承のための記録集をまとめました。この調査の中で、改めて成逸学区の路地の多さや路地の抱える課題を再認識することになりました。



(6) 成逸防災まちづくり計画策定

京都市の支援を受けて平成26年から防災まちづくり調査を実施しています。調査は26町内会ごとに現地調査と意向調査をもとに防災まちづくり課題マップ



を作成し、全世帯に配布しました。27年度は町内会ごとの防災まちづくりに対する意識と現状把握のもと、課題の再整理を行い、28年度に3年間調査をまとめ、成逸『路地・まち』防災まちづくり計画と各町内会ごとの防災まちづくり計画を策定しました。

4 活動の成果

平成19年の新潟中越沖地震の教訓を契機に、自力で避難所運営マニュアルを策定したことがこれまでの継続的な防災まちづくり活動につながっています。毎年の防災訓練を通じて、また様々な町内会を基本とした防災関連データの集積を重ねるごとにより、町内会単位の防災まちづくりは町内会、住民の中になんかなり浸透しています。特に26年度に取り組んだ災害時要配慮者支援台帳作成においては全町内会長の協力を得て、73歳以上の高齢者の9割の回答があり、250名あまり登録することができました。このように町内会単位での数多くの取組は町内会と住民の方の理解と協力により、実現しています。

5 今後の取組に向けて

成逸学区では「私のまちに町内会があって良かったと思えるまち」をまちづくりの基本方針としており、長年にわたる町内会単位での様々な持続的な取組が防災まちづくり活動に繋がっています。

成逸防災まちづくり計画では学区、町内会、個人のそれぞれの取組と役割を明確にしました。個人の取組と町内会、また隣接する町内会との連携も必要であり、学区としての取組も重要となります。

今後はこれまでの取組の成果を活かし、さらに町内会単位での取組の継続と進化を図ることを目的に活動を展開することとしています。